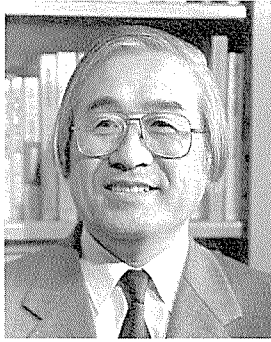


## 著作目録（大内秀明）

著者	東北大学史料館
号	485
発行年	1992-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/00065302">http://hdl.handle.net/10097/00065302</a>

大内秀明教授著作目録

平成4年3月  
東北大学記念資料室  
(著作目録第485号)



### 大内 秀明 教授 略歴

生年月日 19325 (昭和7)年10月17日  
本籍地 東京都 [REDACTED]  
現住所 [REDACTED]

#### 学 歴

昭和26年4月 東京大学経済学部経済学科入学  
昭和30年3月 同 卒業  
昭和30年4月 東京大学大学院社会科学研究科修士課程 (理論経済学・経済史学専門課程)  
昭和35年3月 同 博士課程単位取得退学  
昭和38年9月 経済学博士学位授与 (東京大学)

#### 職 歴

昭和34年10月 明治学院大学経済学部講師 (非常勤)  
昭和35年4月 明治学院大学経済学部専任講師  
昭和37年3月 東北大学川内分校講師  
昭和38年11月 同 助教授  
昭和39年4月 東北大学教養部助教授  
昭和46年6月 東北大学教養部教授  
昭和51年9月 東北大学教養部長事務取扱 評議員併任 (～昭和55年9月)  
東北大学教養部長併任 (～昭和55年9月)  
昭和57年3月 文部省在外研究員としてロンドン大学に留学 (～昭和57年12月)  
平成4年3月 退官

## 著 作 目 録

## 著 書

- 経済学原理論（上）〔共著〕鈴木鴻一郎編  
1960年11月 東京大学出版会
- 講座戦後日本の思想2〔共著〕日高普編  
1962年 9月 現代思潮社
- 経済学原理論（下）〔共著〕鈴木鴻一郎編  
1962年 7月 東京大学出版会
- 資本論講座 7〔共著〕大内力編  
1964年 3月 青木書店
- 教養経済学〔共著〕東北大学教養経済学研究会編  
1964年 4月 昭学社
- 価値論の形成〔单著〕  
1964年12月 東京大学出版会
- 景気と恐慌〔单著〕  
1966年 4月 紀伊国屋書店
- 経済学概論〔共著〕大内力・大内秀明・戸原四郎共同執筆第二篇学説史・理論を担当  
1966年 9月 東京大学出版会
- 資本論研究Ⅱ・Ⅲ〔共著〕宇野弘蔵編  
1967年10月 筑摩書房
- 転機にたつ日本資本主義〔单著〕  
1970年 5月 現代評論社
- 戦後思想家論〔共著〕現代の眼編集  
1971年 7月 現代評論社
- 宇野経済学の基本問題〔单著〕  
1971年 9月 現代評論社
- 多極化のなかの日本経済〔单著〕  
1972年 4月 河出書房新社
- 日本の土地問題〔共著〕佐伯尚美・小宮隆太郎編 第4章を加藤栄一と共同執筆  
1972年 7月 東京大学出版会
- 意識の中の日本〔共著〕日高六郎編  
1972年 7月 朝日新聞社
- 宇野弘蔵をどうとらえるか〔共著〕  
1972年12月 芳賀書店
- 日本資本主義の再編成〔单著〕  
1974年 4月 現代評論社
- 講座・現代資本主義（全6巻）〔共著〕大内秀明・鎌倉孝夫・新田竣三編  
第1巻序章，第3巻3章・終章担当  
1975年 4月 日本評論社

- 過疎の実証分析〔共著〕齊藤晴造編著 第1編6章 第2編1章1担当  
1976年3月 法政大学出版局
- 資本論研究入門〔共著〕大内秀明・桜井毅・山口重克編 第X章担当  
1976年10月 東京大学出版会
- 経済原論〔共著〕大内秀明・鎌倉孝夫編 第1章 第6章担当  
1976年11月 有斐閣
- 現代社会主義論争〔共著〕朝日ジャーナル編 1978年7月 学陽書房
- 現代の景気と恐慌〔共著〕大内力編 第6章担当  
1978年11月 有斐閣
- マルクス経済学の現状と展望〔共著〕桜井毅・大内秀明・山口重克  
1978年12月 東洋経済
- マルクスを読む・資本論講義〔共著〕野坂昭夫との対談形式  
1979年1月 朝日出版社
- 現代の国家と経済〔共著〕大内秀明・柴垣和夫編 第2章を村上和光と共同執筆  
1979年2月 有斐閣
- 宇野弘蔵〔共著〕大内・鎌倉・林・佐伯共著（有斐閣新書）  
1979年4月 有斐閣
- 80年代の構想〔共著〕大内秀明・富塚三夫・高木郁郎共著  
1980年3月 毎日新聞社
- 自立への熱望〔共著〕大内秀明・富塚三夫・高木郁郎・新田竣三共著  
1981年2月 国際文化出版社
- 講座・今日の日本資本主義〔共著〕大内秀明・柴垣和夫編（第4巻）  
第4巻・第5巻を吉田震太郎・平本厚・大川健司と共同執筆  
1982年1月 大月書店
- 『資本論』の常識〔単著〕 1984年6月 講談社
- ヨーロッパの政権と労働組合〔共著〕イギリス・スウェーデンを担当  
1984年11月 第一書林
- 参加・創造・社会改革〔共著〕福田・鎌倉編 1985年8月 ありえず書房
- 九〇年代の構想〔共著〕高木郁郎編 1987年4月 ぼる出版

- 連合時代の可能性〔共著〕高木郁郎と共編 1988年1月 総合労働研究所
- いま税金を考える・税制と国家システムの選択〔共著〕大内編, 共著者木村武司・樋口謙次  
1988年12月 三一書房
- 連合新時代の構図〔単著〕 1989年7月 第一書林
- 土井社会党—政権を担うとき〔共著〕 1989年12月 明石書店
- 新しい現実と社会民主主義〔単著〕 1990年7月 第一書林
- ソフトノミックス〔単著〕 1990年4月 日本評論社
- 世界と日本・新しい読み方〔単著〕 1991年7月 講談社
- もう一人のマルクス〔単著〕 1991年10月 日本評論社
- 転換と新しい構想〔共著〕大内秀明, 高木郁郎, 住沢博紀共著, 序章, 第1, 3章担当  
1992年1月 第一書林

## 翻 訳

- A. ブリッグス  
マルクス・イン・ロンドン〔監訳〕 1983年12月 社会思想社

## 論 文

- 貿易および為替管理における国家統制について  
『アナリスト』第5巻2号, 1959年2月
- 価値の生産価格への転形問題  
『経済評論』第9巻2号, 1960年1月
- リカードォにおける産業循環論の欠如について — 投下労働価値説の検討 —  
『明治学院論叢』56号の2, 1960年2月
- 労働価値説と社会的需要(1)  
『明治学院論叢』58号の2, 1960年10月
- 「労働力の価値」と「労働の価値」  
『明治学院論叢』60号の2, 1961年2月
- 価値の形態と実態 — 交換価値をめぐる古典経済学とマルクス —  
『経済と歴史 — 明治学院大学経済学部十周年記念論文集 —』1961年3月

- 「価値形態」の展開（一）  
『明治学院論叢』63号，1961年9月
- 「価値形態」の展開（二）  
『明治学院論叢』69号，1962年3月
- 恐慌論をめぐる（上）—循環過程の問題点—  
『思想』，1962年9月
- 恐慌論をめぐる（下）—循環過程の問題点—  
『思想』，1962年12月
- 労働価値説の論証（一）—貨幣の資本への転化—  
『経済学』，第25巻第1号，1963年7月
- 労働価値説の論証（二）  
『経済学』，第25巻第2号，1963年
- 初期マルクスと労働価値説  
東北大学教養部『文化紀要』12集，1964年3月
- 私的所有と商品経済 — スミスとマルクス —  
東北大学『教養部紀要』第2号，1965年3月
- 情勢分析 日本経済の現局面  
『東北学院大学新聞復刊200号記念誌』1966年12月
- 「資本論」と純粋資本主義  
『経済学論集』，東京大学，第33巻3号，1967年10月
- 価値論論争  
越村等編著『資本論の展開—批判・反批判の系譜』  
(同文館)所収，1967年12月25日
- 仙台市民の家計と暮らし  
『東北放送』，3号，1968年1月
- 日本経済と技術開発  
『工明会誌』，第38号，1968年3月
- 景気循環と物価変動  
東北大学『教養部紀要』8号，1968年3月
- 日米関係の現段階と憲法体制  
『社会主義』，再建9号，1968年5月

- 唯物史観の論証をめぐって  
『社会科学の方法』第3号, 1968年5月
- リカードの外国貿易論  
宇野弘蔵先生古希記念『マルクス経済学の研究(下)』  
(東大出版会)所収, 1968年10月
- 経済学史における理論と思想 — その課題と方法 —  
末永茂喜教授還暦記念論文集『経済学の方法』, (日本評論社)所収, 1968年
- 「労賃」について  
『唯物史観』第5号, 1968年11月
- 「世界資本主義論」の虚妄  
『状況』, 6号, 1969年2月
- 革新首長下の地方自治体  
『社会主義』第20号, 1969年3月
- 仙台経済圏の将来 — 昭和60年への展望 —  
『東北放送』, 8号, 1969年5月1日
- 日本資本主義の教育問題  
『社会主義』, 第22号, 1969年5月1日
- 先進国労働者階級の脱革新  
『現代の眼』, 第10巻, 第8号, 1969年8月
- 利潤率低下問題 — スミスのばあい —  
『研究年報 経済学』31巻1号, 1969年10月
- 転機に立つ日本資本主義  
『現代の眼』, 第10巻11号, 1969年11月
- 技術革新と合理化 — 国家独占資本主義と経済成長 —  
『月刊社会党』, No.152, 1969年11月
- 商工業と金融  
『仙台市史』続編第2巻第9章第3節, 1969年12月
- 仙台市の都市交通  
『商工仙台』, No.18, 1970年1月
- マルクーゼの疎外論  
『唯物史観』第8号, 1970年2月



現代資本主義と管理社会

『現代の眼』, 第11巻3号, 1970年3月

レーニンとスターリン

『社会主義』36号, 1970年4月22日

「いわゆる市場問題について」の意義

『唯物史観』第9号, 1970年5月

「剰余価値学説史」の意義 — 経済学史の方法に関して —

鈴木鴻一郎先生還暦記念

『資本論と帝国主義(上) — 資本論の形成と展開 —』

(東大出版会) 所収, 1970年11月

現代ロマン主義経済学批判

『状況』, 27号, 1970年12月

日米経済戦争と三島由紀夫の死

『解放』, 第3号, 1971年1月

生活闘争と地域労働運動

『社会主義』, 第47号, 1971年2月

続ロマン派経済学批判

『状況』, 30号, 1971年3月

40年型高度成長に鈍化の兆し

『潮』138号, 1971年4月

三沢市 — 戦後の二重構造の基地経済

『現代の眼』, 第12巻4号, 1971年4月

反スターリン主義運動と宇野理論

『状況』32号, 1971年5月

スタグフレーションの経済学

『現代の眼』, 第12巻5号, 1971年5月

過密過疎問題と教育 — その経済的背景 —

『国土と教育』, 第2巻1号, 1971年5月

労務管理の歴史的総括

『月刊労働組合』51号, 1971年6月

- 資本主義の美容整形 — 現代資本主義論争によせて —  
『社会科学の方法』25号, 1971年7月
- 混合経済体制の破綻と円  
『現代の眼』12巻10号, 1971年10月
- 日本経済の転形と虚構開発  
『現代の眼』第13巻2号, 1972年2月
- 「お祭り市長」の効用と条件  
『市民』No.7, 1972年3月
- マルクス経済学の擁護  
『経済セミナー』201号, 1972年4月
- 地域開発計画の問題点 — 日本を中心にして —  
小宮等編『日本の土地問題』（東大出版会）所収, 1972年7月
- 日本列島改造論の幻想  
『エコノミスト』1972年7月
- 戦後日本の経済理論・大内理論  
『経済セミナー』1972年7月号
- 国家独占資本主義と生活闘争  
『月刊社会党』No.186, 1972年8月
- 戦後日本の経済理論（4）  
『経済セミナー』208号, 1972年11月
- 宮城県長期総合計画 — その影響と中小企業とを考える（1）—  
『中小企業 時報』No.113, 1972年10月
- 続「日本列島改造論」の幻想  
『国民文化』155号, 1972年10月
- 日本列島改造論と東北開発  
東北経済クラブ『会報』264号, 1972年11月
- 「変身」する日本資本主義  
『現代の眼』第13巻11号, 1972年11月
- 宮城県長期総合計画 — その影響と中小企業を考える（2）—  
『中小企業 時報』No.114, 1972年11月

国際通貨危機と現代帝国主義

『閃光』1972年11月

東北開発と列島改造

『仙台会議所ニュース』1017号, 1973年1月

宮城県長期総合計画 — その影響と中小企業を考える (3) —

『中小企業 時報』No.115, 1973年1月

現代資本主義の戦後体制

『経済評論』22巻1号, 1973年1月

土地国有化論

『中央公論』1031号, 1973年2月

宮城県長期総合計画 — その影響と中小企業を考える (4) —

『中小企業 時報』No.116, 1973年3月

宮城県長期総合計画 — その影響と中小企業を考える (5) —

『中小企業 時報』No.117, 1973年5月

宮城県長期総合計画 — その影響と中小企業を考える (6) —

『中小企業 時報』No.118, 1973年8月

現代資本主義の腐朽性 (上)

『経済時評』1973年10月

現代資本主義の腐朽性 (下)

『経済時評』1973年11月

現大企業のあり方を問う

『中央公論』1040号, 1973年11月

戦後日本の景気循環の変容

『エコノミスト』第51巻48号, 1973年11月

土地国有化の提案

『不動産経済』15号, 1973年12月

革新政権構想を検討する

『世界政経』23号, 1974年1月

新幹線誘致はなにをもたらすか

『地上』第28巻2号, 1974年2月

## 資本主義と国家

『唯物史観』第13号, 1974年2月

## 東北経済の現状と将来 — オイル・パニックのなかで考える —

『金融ジャーナル』1974年3月

## 成長神話にかけた自民党の幻想

『エコノミスト』52巻12号, 1974年3月

## 資源危機と東北開発 — 資源開発の見直し —

『調査月報』No.10北海道東北開発公庫, 1974年4月

## 労働価値説再論 — サムエルソンのマルクス批判について —

『マルクス経済学の理論構造』経済学全集4別冊, 筑摩書房, 1974年6月

## 物価問題の現局面と総需要抑制

『経済セミナー臨時増刊』233号, 1974年7月

## 「近代経済学とマルクス経済学の方法」について — 関根友彦教授への疑問 —

『社会科学の方法』7巻7号, 1974年7月

## 高度成長の破綻と地域開発 — 総需要抑制政策の危険な本質をつく —

『北海道自治研究』1974年8月

## 情報化政策と日本経済

『専門図書館』No.58, 1974年11月

## 現代資本主義と独禁政策

『自由主義経済と独禁政策』第6巻第4号, 1974年12月

## 東北経済 — 最近の景況とその役割 —

『かほくサービス』37号, 1974年12月

## 研究者の広場「複眼」

『土地住宅問題』62号, 1975年3月

## 安定成長=低成長路線との対決

『全通時報』162号, 1975年9月

## 日本資本主義の転機と企業行動

『現代の眼』16巻10号, 1975年10月

## 連合再構築のための政策路線

『月刊社会党』292号, 1975年12月

- 「経済学批判要綱」における恐慌論の不在  
『現代思想』VOL. 3-13, 1975年12月
- 76春闘をめぐる経済情勢  
『月刊労働問題』No.218, 1976年2月
- 地方財政の危機と自治体合理化  
『北海道自治研究』85号, 1976年2月
- IMF 体制崩壊後の日本経済と今後の課題  
『ノイエ・ツァイト』第4号, 1976年3月
- 地域開発をめぐる土地の所有と利用 — 国土法に関連して —  
『土地住宅問題』19号, 1976年3月
- 日本資本主義の再編成と農業  
『酪農学園大学農業経済学科 特別講義集』1976年4月
- 国家独占資本主義論争再開のために  
『現代の理論』13巻5号, 1976年5月
- 破綻した三木政権の経済政策  
『月刊社会党』No.234, 1976年6月
- 三全総と東北開発 — 人口の定住可構想を中心にして —  
『調査月報』北海道東北開発公庫, 1976年6月
- 日本資本主義の現局面  
『しんろ』147号, 1976年6月, 7月
- 地域開発と第三セクター  
『遠藤湘吉教授追悼論文集』（東大出版会）所収, 1976年7月
- 日本資本主義の史的構造  
『現代の眼』第17巻8号, 1976年8月
- 春闘の敗北と理論学習 — 講師の目 —  
『学校通信』1976年11月
- 「資本論」と国家論  
『社会科学と諸思想の展開 — 世良教授還暦記念（下） —』  
（創文社）所収, 1977年4月
- 実現恐慌論の再版＝復活をめぐって  
『経済学批判2』1977年4月

宇野理論の遺産と継承

『現代の眼』第18巻5号, 1977年5月

仙台市 — 二十年を経た島野市政の課題 —

『地方自治通信』No.93, 1977年8月

第三段階に入った総評運動

— なしくずしの「路線転換」と「摸索下」の微妙な含み —  
『労働法律旬報』1977年9月

定住圏構想が提起したもの — 地域格差拡大の歯止めとなるか —

『エコノミスト』55巻46号, 1977年11月

52年度「国民の経済白書」と革新の課題

『月刊社会党』255号, 1978年2月

三全総と人口定住構想の限界

『自治研』1978年2月

デミノ談義

『東北大学学報』977号, 1978年2月

地域開発と地域主義

『公明』193号, 1978年3月

革新の経済政策を問う

『世界政経』65号, 1978年4月

定住圏構想の意義と限界

『地方自治通信』101号, 1978年4月

福田版列島改造予算の虚実

『月刊総評』245号, 1978年4月

都市開発の動向と課題

『都市問題』第69巻第5号, 1978年5月

「社会主義の構想」をめぐる

『月刊社会党』261号, 1978年7月

日本経済 その今日的矛盾の構造

『経済評論』1978年8月

利潤率低下問題・リカードからマルクスへ — J. Sミルとラムジ —

『桜美林エコノミックス』第7号, 1978年12月

- 1980年代の構図・試論  
『技術と人間』第8巻1号, 1979年1月
- 円高と地震にゆれた地域経済  
『財界せんだい』1979年1月
- 首都移転は国土構造の変革の動因となるか  
『人と国土』1979年1月
- 地方都市の定住条件について  
『新日本列島』1979年6月
- “連合の時代”と新しい革新の思想  
『流動』第12巻8号, 1979年8月
- 80年代の地方自治の展望  
『自治研』21巻12号, 1979年12月
- 80年代・日本経済再編の方向  
『エコノミスト』58巻1号, 1980年1月
- 労働力の商品化と私的所有の止揚  
『月刊社会党』No.281, 1980年2月
- 80年代と地方政治  
『地方政治』第238号, 1980年2月
- 80年代の東北経済 — 地方の時代への条件 —  
『情報』No.701, 1980年3月
- 日本経済と地域自立の条件  
『自治研』22巻5号, 1980年5月
- 地域政策の方法的考察  
『地域』第3号, 1980年5月
- 市民社会論と国家  
『経済評論』29巻6号, 1980年6月
- 東北新幹線の功罪  
『東北時代』創刊号, 1980年8月
- 国際経済の新しい組織化  
『経済評論』第29巻9号, 1980年9月

連合再構築のための政策路線

『月刊社会党』No.292, 1980年12月

宮城県沖地震の教訓 — 都市型災害の問題点 —

『東京地震 復興と法律問題』(有斐閣)所収, 1981年4月

なぜ社会党の「道」を見直すのか

『エコノミスト』59巻10号, 1981年3月

社会主義における自由と民主主義

『朝日ジャーナル』VOL. 23. No.11, 1981年3月

大型店出店紛争と地域民主主義 — 江釣子村の事例を中心に —

『RIRI』VOL. 13, No.5, 1981年5月

社会主義の新たな道

『現代の眼』22巻6号, 1981年6月

兼業は地域の支え

『財界農政』1981年9月

供給サイドの経済学の源流 — J. BセーとD. リカード —

研究年報『経済学』VOL. 43, No.4, 1982年3月

新しい反核・軍縮運動 — 英国で史上最大の集会に参加して —

『エコノミスト』1982年8月

フォークランドとバランス感覚 — イギリス最新事情(1) —

『エコノミスト』1982年9月

日産の「進出延期」に戸惑う現地 — イギリス最新事情(2) —

『エコノミスト』1982年9月

地下鉄料金決定にみる政治と市民 — イギリス最新事情(3) —

『エコノミスト』1982年10月

成熟社会の都市と生活 — イギリス最新事情(4) —

『エコノミスト』60巻43号, 1982年10月

マルクスの死後100年の異変 — イギリス最新事情(5) —

『エコノミスト』60巻44号, 1982年10月

マルクス・イン・ロンドン — イギリス最新事情(6) —

『エコノミスト』60巻46号, 1982年11月



有効需要の理論の源流 — シスモンディとマルサス —

『東北大学教養部紀要』37号, 1982年12月

現地にみるイギリス労働運動（上）— 退潮から反撃へ —

『月刊総評』301号, 1982年12月

ユーロ社会主義は21世紀の扉を開くか

『エコノミスト』第61巻2号, 1983年1月

経済危機下でのユーロ社会主義

『月刊社会党』319号, 1983年1月

サッチャーイズムの破綻をしめした保守党大会

『現代社会主義研究』43号, 1983年1月

現地にみるイギリス労働運動（下）— TCU 再編への苦悩 —

『月刊総評』1983年2月

統一をとり戻したイギリス労働党大会

『現代社会主義研究』44号, 1983年2月

ロンドンの交通

『月刊健康』236号1983年4月

サービス経済化の社会構造分析

『労働レーダー』, 1983年5月

マルクスを越えるために

『経済セミナー』340号, 1983年5月

マルクス没後百年の風景

『経済評論』32巻6号, 1983年6月

マルクスの理論的遺産と日本

『経済評論』32巻7号, 1983年7月

労働党の敗北とマルクス没後百年

『経済評論』32巻8号, 1983年8月

マルクス主義の遺産

社会主義理論センター編『新しい社会の創造』1983年10月

われわれのめざす社会主義像 — 解説と提言 —

社会主義理論センター編『新しい社会の創造』1983年10月

- 激化する貿易摩擦  
『労働ニュース』新年特別号, 1983年12月
- 新しい社会を構想するために  
『全通調査時報』6号, 1983年12月
- 現在の大学と教育  
『経済評論』1983年12月
- 石油ショック後10年の軌跡  
『経済評論』1984年1月
- 経済時評 求められる東北開発の検討  
『東北ジャーナル』2巻1号, 1984年1月
- 論争の小箱 ― 大学改革の原点 ―  
『経済評論』1984年2月
- 一步後退, 二歩後退?  
『現代の理論』No.200, 1984年4月
- ニュー・ソシアリズムの創造へ  
『月刊総評』318号, 1984年6月
- 八十年代後期の地域開発  
『自治研』1984年5月
- 政策思想の変革で不均衡是正を  
『経済評論』1984年6月
- さめる地方の行革熱  
『読売新聞』1984年6月
- 財政危機の深化と日本経済の構造的不均衡  
『状況と主体』103号, 1984年7月
- 成功するか小国の社会民主主義 ― 福祉国家は時代遅れではない ―  
『エコノミスト』1984年7月
- 表面化する新保守主義の限界 ― 「日本は“悪魔”になりつつある」 ―  
『エコノミスト』1984年7月
- 世界景気の回復と貿易摩擦について  
『東北機械電子工業会』1984年7月

平和保障政策の前提

『経済評論』1984年9月

マルクス経済学への素朴な疑問

『経済セミナー』No.356, 1984年9月

ヨーロッパに見る福祉社会の再生と教育問題

『学校事務』第35巻12号, 1984年10月

新保守主義の限界と政策戦略

『労働レーダー』No.89, 1984年10月

高貯蓄体質と消費者意識 — 仙台市消費者意識調査 —

東北大学『教養部紀要』菅野俊作教授退官記念 1984年12月

新保守主義は続かない

『エコノミスト』1984年12月

資本供給国日本の虚妄

『経済評論』1984年12月

経済時評 新幹線上野乗り入れへの期待

『東北ジャーナル』3巻1号, 1985年1月

マルクスを見直す中国

『エコノミスト』63巻4号, 1985年1月

80年代地域経済の潮流

『北海道自治研究』No.193, 1985年2月

政権と労働組合 — 南太平洋に学ぶ —

『月刊社会党』347号, 1985年3月

ニューメディア時代における労働運動

全電通労組北海道中央支部'85討論集会, 1985年4月

輸出課徴金で内需拡大への転換を

『経済評論』1985年7月

大規模小売店舗問題と街づくり

『大規模小売店舗問題を考えるシンポジウム』記録, 1985年7月

今でも生きているマルクス — 『資本論』の「一億中流」への警告 —

『新潮45』第4巻8号, 1985年8月

- ニューメディアと地域社会の変貌（1）— 地域コミュニティの解体へ—  
『経済評論』34巻8号, 1985年8月
- ニューメディアと地域社会の変貌（2）— ニューメディアにゆれる地域商業—  
『経済評論』34巻9号, 1985年9月
- 高度情報化社会  
『地方政治』307号, 1985年10月
- ニューメディアと地域社会の変貌（3）— 情報化時代の地域商業—  
『経済評論』34巻10号, 1985年10月
- ニューメディアと地域社会の変貌（4）— ニューメディアによる商業近代化—  
『経済評論』34巻11号, 1985年11月
- ニューメディアと地域社会の変貌（5）— 情報化時代の街づくり—  
『経済評論』34巻12号, 1985年12月
- 新保守主義の破綻  
『労働ニュース』1985年12月
- 求められる街づくりの新しい哲学  
『経済評論』35巻1号, 1986年1月
- 経済時評 建設産業の再活性化の年に  
『東北ジャーナル』4巻1号, 1986年1月
- 産業構造と地域空間  
『経済地理学会年報』32巻4号, 1986年
- 社会党はネアカのビジョンを— 新宣言は社会主義の総決算—  
『エコノミスト』1986年2月
- 満場一致にひそむ病根  
『現代の理論』1986年3月
- 地域個性主義の位相  
『都市問題研究』第38巻第3号, 1986年3月
- 日本型ニューディールを期待する  
『エコノミスト』1986年8月
- 中央と地方の建設産業ビジョン— 地域と業界の活性化への道—  
『積算技術』1986年10月

私的所有と社会主義

『法と法過程』（創文社）刊，1986年10月

産業構造と地域空間

『経済地理学会会報』第32巻第4号，1986年10月

円高・低金利と日本経済 — 真の内需拡大のために —

『農業協同組合』第32巻第11号，1986年11月

東北地域圏とは — その虚像と実像 —

『運輸と経済』46巻11号，1986年11月

経済時評 四全総の中間報告が提起したもの

『東北ジャーナル』5巻1号，1987年1月

西独社民党新綱領の新しさ

『現代の理論』No.234，1987年2月

国鉄改革は終わったのではない，これから始まる

『運輸と経済』1987年2月

産業の空洞化と地域経済

『地理』第32巻第6号，1987年6月

世界都市・東京問題と四全総 — 現段階の東京集中への視点 —

『都市問題』78巻9号，1987年9月

日本の産業構造の変化と展望

『中学社会 大書』162号，1972年10月

四全総と世界都市問題

『都市問題研究』39巻10号（442号）1987年10月

現代「二都物語」— ドーバー海底トンネル —

『運輸と経済』第47巻第11号，1987年11月

金融恐慌はくるのか

『専門店』445号，1987年12月

四全総と土地問題

『農業と経済 — 現代の土地・地価・農地問題 —』第53巻14号，1987年12月

ついに起こった大恐慌

『経済セミナー』396，1988年1月

- 経済時評 1989年 世界・日本・東北の景気を読む  
『東北ジャーナル』6巻1号, 1988年1月
- ソフトノミックス原理(1) — 脱工業化社会の歴史的位相 —  
『経済評論』第37巻1号, 1988年12月
- ソフトノミックス原理(2) — 物神性からヒューマンネットワークへ —  
『経済評論』第37巻第2号, 1988年2月
- ソフトノミックス原理(3) — サービス化と市場メカニズム —  
『経済評論』第37巻3号, 1988年3月
- 企業社会の論理を打ち破れ  
『エコノミスト』1988年3月
- ソフトノミックス原理(4) — サービス資本の循環形式 —  
『経済評論』第37巻4号, 1988年4月
- ソフトノミックス原理(5) — 生産的労働と不生産的労働 —  
『経済評論』第37巻第5号, 1988年5月
- ソフトノミックス原理(6) — 脱工業化と労働運動の復権 —  
『経済評論』第37巻第6号, 1988年6月
- ソフトノミックス原理(7) — 高まる女性労働力の役割 —  
『経済評論』第37巻7号, 1988年7月
- 「連合」時代に期待するもの  
『季刊 労働法』148, 1988年7月
- ソフトノミックス原理(8) — 時間消費型消費と商業革新 —  
『経済評論』第37巻8号, 1988年8月
- ソフトノミックス原理(9) — ソフト化時代の地域開発 —  
『経済評論』第37巻9号, 1988年9月
- 「赤字国責任論」の次にくるもの  
『エコノミスト』第66巻47号, 1988年11月
- ソフトノミックス原理(10) — ニューサービスと二重構造の転換  
『経済評論』第37巻11号, 1988年11月
- ソフトノミックス原理(11) — 国際経済システムの転換と知的所有権  
『経済評論』第37巻12号, 1988年12月

- 経済時評 みやぎ第二首都圏—エコポリス構想—  
— 仙台北都交通体系の提案 —  
『東北ジャーナル』 7巻1号, 1988年1月
- ソフトノミックス原理 (12) — ソフトノミックスの社会主義  
『経済評論』 第38巻第1号, 1989年1月
- リクルート疑獄の政治経済学  
『世界と議会』 1989年1月
- 国際化の中の東北経済の進路 — 仙台第二首都をめぐる —  
東北学院大学『東北産業経済研究所紀要』 8号, 1989年2月
- 提言 連合の進むべき道  
『現代フォーラム』 No.1, 1989年3月
- 自由化の背景と流通事情の現実 — 小売業を標的にする大錯誤 —  
『専門店』 1989年4月
- 宮城知事選に「草の根保守」崩壊を見る — 政界再編と「地方党」の出現 —  
『エコノミスト』 第67巻14号, 1989年4月
- 民主主義の価値を担った総評労働運動  
『月刊総評』 380号, 1989年8月
- 交通社会資本整備における受益と負担のあり方 (2)  
— 受益者負担・参加の原則を —  
『運輸と経済』 49巻10号, 1989年10月
- 草の根の保守の崩壊を見る  
『学校事務』 40巻18号, 1989年12月
- 社会主義への視点  
「窓」特集「社会主義はどこへ」 1989年12月
- わが国の福祉の問題点と自主福祉運動  
『ウェルフェア』 1号, 1990年3月
- 欺瞞・金満・驕慢  
『軍縮問題資料』 No.114, 1990年5月
- 流通 — 「90年代流通ビジョン」について  
『流通』 No.3, 1990年10月

- ポスト湾岸とアメリカ主導の世界秩序の虚構  
『平和経済』第355号, 1991年4月
- 転換期の中の政策・制度闘争を考える  
『労働経済旬報』45巻1440号, 1991年5月
- サービス経済化の景気循環と中小企業  
『中小企業信用保険公庫 月報』VOL. 34, 1991年8月
- マルクス・レーニン主義の葬送は社会主義の死ではない  
『新雑誌21』9巻11号, 1991年11月
- 後戻りできない中国, 北朝鮮  
『エコノミスト』1991年11月
- サラ金大国アメリカの没落  
『新雑誌21』9巻12号, 1991年12月
- 現代資本主義論の焦点 — ソ連・東欧体制の崩壊と宇野三段階論 — 馬渡等編『現代の資本主義 — 構造と動態』  
(お茶の水書房) 所収 1992年3月
- 国民の経済白書**
- 昭和52年度国民の経済白書 (総論, 第2部第1章, 補論 担当)  
1977年12月
- 昭和54年度国民の経済白書 (第4部第1章担当)  
1979年12月
- 昭和55年度国民の経済白書 (総論 担当)  
1980年11月
- 1981年度国民の経済白書 (総論 担当)  
1981年11月
- 1983年度国民の経済白書 (総論 担当)  
1983年12月
- 1985年度国民の経済白書 (総論, 第2章 担当)  
1985年12月
- 1986年度国民の経済白書 (総論 担当)  
1986年11月



1987年度国民の経済白書（各論第2章 担当）	1987年12月
1989年度国民の経済白書（総論 担当）	1989年11月
1990年度国民の経済白書（総論 担当）	1990年12月

### 辞典項目

経済学辞典 青林書院新社 1980年11月

現代マルクス・レーニン主義辞典 上 社会思想社 1980年11月

現代マルクス・レーニン主義辞典 下 社会思想社 1981年7月

### 書 評（一部のみ）

東京大学社会科学研究所編

「戦後改革 8 改革後の日本経済」

『社会科学研究』第27巻第5, 6号合併号, 1976年5月

「現代の資本主義」を読んで

『経済評論』1977年11月

「現代の資本主義」（長洲一二編著）

『公明』153号, 1975年2月

「模索する資本主義」（渡部経彦著）

『公明』No.158, 1975年6月

※その他, 各種調査報告, 新聞論説など多数